

**総務財政常任委員会派遣調査
(株式会社恋する鹿角カンパニー)**

9月16日、ふるさと鹿角応援寄附事業において、地元事業者や生産者とともに、様々な返礼用の地域産品の研究・開発、返礼品配送業務を行っているほか、「地域商社」としての役割も担っている株式会社恋する鹿角カンパニーを訪問し、地域産品の魅力や返礼品のPR活動などについて意見交換を行いました。



道の駅おおゆ「市日スペース」で開催

委員からは、複数の事業者間でのコラボ商品の開発や、本市における返礼品の一番人気であるリンゴの提供品種を増やすことなどが提案されましたが、コラボ商品の開発やリンゴの品種を増やすことについても行う予

定であるとのことでした。今後においても、地元企業であることの強みを生かし、返礼品出品者の魅力を深掘すること、寄附者にもその魅力が伝わるよう取り組むとのこと、地域産品の魅力を最大限引き出すことができる企業であることを感じてきました。

**世紀越えトンネル
建設加速化市町議会協議会**

鹿角市議会と青森県田子町議会で構成する「世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会」は、8月26日に青森県知事に要望活動を実施しました。

この要望活動は、秋田・青森両県の県境は急勾配・急カーブの連続等により、円滑な通行を阻害しているほか、冬季間の交通機能も低下することから、年間を通して安全な交通体系を確立するため、32キロメートルある国道103号鹿角市大湯から国道104号田子町夏坂間を一部トンネル化(通称・世紀越えトンネル)によって短縮するルート整備を早期に実施されるよう求めるもので、宮野会長(鹿角市議会議長)・沢口副会長(田子町議会議長)をはじめとする役員が出席しました。秋田三村青森県知事からは「秋田

県と連携をしながら、世紀越えトンネルの事業効果や現実的な整備手法について検討を進めた」などの考えが示されました。

鹿角市議会全員協議会

9月4日、「鹿角市人口ビジョンの改訂」と「第7次鹿角市総合計画(案)」について説明を受けるため全員協議会を開催しました。

人口ビジョンについては、第7次鹿角市総合計画で目指す将来都市像の実現と、第2期鹿角市総合戦略による地方創生の推進を図るために取り組む施策を企画立案する観点から、改めて本市の人口の現状が分析され、その分析と見直し後の将来展望について説明を受けました。

また、第7次鹿角市総合計画(案)については、暮らしを守る5つの基本戦略と都市経営の視点で攻める3つの経営戦略に目標指標が掲げられ、基本構想を踏まえた前期5か年の基本計画や事業展開の方向性について説明を受けました。

議員からは、第7次鹿角市総合計画前期基本計画(案)の事業展開の方向性、また、計画の策定に対する質問や意見が出されました。

鹿角市議会議員研修

9月25日、議員研修として新型コロナウイルス感染症対策について、市職員を講師として講習会を行いました。

講習会では、個人で行う感染予防「新しい生活様式」の基本の一つとする、手洗いを実践しその効果と重要性について再確認したほか、県と市の医療提供体制等の現状や冬期間におけるインフルエンザとの同時流行に備えるための対策について説明を受けました。

講習会で得た知識などは、市議会としてこれからの新型コロナウイルスウィルス感染症を予防するための行動と対応、市民への対策意識の周知に役立てたいと考えています。



手洗い後の洗い残しを確認